

Ⅱ 9月補正予算案の主な施策

1 子ども・子育て世代への支援

少子化が進展する中、結婚・出産・子育てがしやすい環境づくりは喫緊の課題となっています。

そこで、保育の受け皿づくりを進めるため、保育士資格の取得を目指す学生を支援するための修学資金等を創設するとともに、資格を持ちながら現在就業していない「潜在保育士」の実態調査を行い、再就職等を支援します。

また、事業所内保育所の整備にあたり、国の補助対象とならない備品整備に対して新たに県単独の助成を行うほか、放課後児童クラブの施設整備について、対象箇所数の増加に対応し、予算を増額します。

さらに、国の交付金を活用し、市町村が実施する結婚支援や少子化対策のための事業に対し助成を行います。

<主な事業>

○保育士修学資金等貸付事業【新規】	1,660,000千円（14頁）
○千葉県潜在保育士掘り起こし事業【新規】	10,000千円（15頁）
○事業所内保育所整備緊急促進事業【新規】	10,000千円（15頁）
○放課後児童クラブ施設整備事業	58,600千円（15頁）
○千葉県地域少子化対策重点推進事業【新規】	17,961千円（15頁）
○千葉県結婚新生活支援事業【新規】	33,345千円（16頁）

2 福祉・医療の充実

小規模特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護事業所などの介護基盤の整備について、整備箇所数の増加に伴い、施設整備費や開設準備経費への助成を増額するほか、市町村が実情に応じて行う高齢者の生活支援サービスの担い手となる人材の養成研修を新たに実施します。

また、6月議会で成立した「千葉県手話言語等の普及の促進に関する条例」の周知を図るとともに、条例の趣旨を踏まえ、県議会中継に新たに手話通訳を導入します。

このほか、社会福祉法の改正などの制度改革に社会福祉法人が円滑に対応できるよう、専門家による相談支援を受ける経費に対し助成を行います。

〈主な事業〉

○介護基盤整備交付金事業	1,009,248千円（16頁）
○地域密着型施設等の開設準備支援等事業	222,683千円（16頁）
○地域包括ケアシステム構築市町村支援事業	2,268千円（17頁）
○手話等普及啓発事業【新規】	5,850千円（17頁）
○社会福祉法人経営労務管理改善事業【新規】	26,000千円（17頁）

3 暮らしの安全・安心の確立

4月に発生した熊本地震に対応し、県から被災地へ提供した備蓄物資の再整備を進めるとともに、職員やD P A T（災害派遣精神医療チーム）等の派遣に要した費用を計上します。

また、熊本地震の避難所における被害状況を踏まえ、県立学校の体育館における天井材や照明器具等の落下防止対策を進めるほか、本年5月に島根県で発生した落石事故を受けて実施した県内道路の緊急点検により、早期に対策が必要とされた法面の補修・補強工事を実施します。

このほか、依然として被害の多い、振り込め詐欺など「電話 de 詐欺」の被害を抑止するため、高齢者等に個別に防犯指導を行う「電話 de 詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター事業」を平成29年度も継続して実施します。

〈主な事業〉

○平成28年熊本地震への対応経費	230,257千円（18頁）
○県立学校非構造部材対策事業	31,000千円（18頁）
○道路災害防止事業	203,000千円（19頁）
○電話 de 詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター事業 (債務負担行為	119,000千円)（20頁）

4 産業の振興と経済の活性化

本県では15年ぶりとなるいちご新品種のデビューを契機に、観光いちご園等への観光客誘致につなげていくため、地域イベント等と連携したPR事業を実施します。

また、近年の高水温によるノリの不作に対し、本県で開発した高水温耐性品種「ちばの輝き」を増産するための設備整備を行います。

さらに、畜産競争力の強化を図るため、経営規模の拡大や生産の効率化を行うための施設整備について、整備要望の増加に伴い予算を増額します。

このほか、平成29年5月に柏の葉の国立がん研究センター東病院内に開設される「次世代外科・内視鏡治療開発センター（NEXT）」と連携し、健康・医療分野の機器開発等における県内中小企業への支援体制を強化します。

<主な事業>

○いちご新品種PR事業【新規】	8,000千円（20頁）
○高水温耐性ノリ種苗緊急増産対策事業【新規】	6,135千円（20頁）
○畜産競争力強化対策整備事業	236,000千円（21頁）
○地域連携による健康・医療ものづくり推進事業	5,000千円（21頁）

